

《尾木 直樹氏》

## 「いのちを尊ぶ社会をめざして」

### 「先生、大変だ！あそこにみんな乗っているんだ！」

1年前の今日、1月15日、軽井沢のスキーバス転落事故で法政大学の私のゼミの学生4人が亡くなりました。命の重みや、命を落としては取り返しがつかないということを、子どもたちにはこれまで何度言ったかわかりません。事故の当事者になってみて初めて辛さと悔しさがわかりました。メディアの方が「1年経って先生どうですか？」「このような事故を二度と起こさないために、社会に訴えることを発信してください」とおっしゃいますが、まだ進行形、真っ最中です。当事者にとっては毎日毎日が闘いでそんな余裕はありません。よく言いますが、時間軸が私たち当事者には2本あるのです。1つは、こうしてどんどん日が経過していくリアルな時間軸。もう1つは、昨年1月15日で止まったままの時間軸です。ご遺族は、お子さんの部屋を出かけて行った時のそのままにしていっぱいいます。スマホも解約していません。スマホを解約したら子どもと連絡が取れなくなってしまうとおっしゃるのです。その気持ちは本当にたまらないものです。

### 寄り添い、共感する

これまで大変だったことを振り返ってみて、いろんなことが学べました。やっぱり一番よくないのは、「頑張れ」と言って励ますことです。私たちは「頑張れ」という言葉を励ましの意味でよく使っていますが、弱っている方、精いっぱい頑張っている方に「頑張れ」という言葉は禁句だと思います。励ますことよりも寄り添うことがとても大事です。

それから、聴いてほしいのです。聴くということがとても大事だと思います。話を聴いて、「それは大変だったね」と相づちを打つ。この相づちを共感といいます。共感が人間関係において、子育てでも教育でもきわめて重要です。この共感が人を元気づけます。心理学ではエンパワーメントと呼ばれています。パワーを与えるのです。「頑張れ」ではなく、「それはつらかったね」と受け止めて一緒に涙を流してあげればよい。何も言葉は要らないのです。

### 「ありのままに今を輝く！」

私は、「色紙にサインしてください」と言われると書くセリフが2通りあります。1つが「ありのままに今を輝く！」。この言葉がとても好きなのです。もう1つは「愛とロマン！」です。ロマンのないところに教育も子育ても成り立ちません。「こんな素敵なお人になってほしいな」というロマンや愛があってこそ、人は育ちます。

私はゼミの学生の就職の指導もしていますが、学生に「自分の弱点を素直にアピールしなさい」と言っています。自分の弱いところを面接の場で堂々と言えることは、非常に謙虚で、自分を客観的に見ることができていることとなります。だから、「ありのままに今を輝く！」はとても大事です。今を輝いていれば、明日も輝く。明日も輝けば1週間後も、1年後も輝いてくるのです。将来のためにとにかく今は我慢をしてという人生ではなく、「今を輝く！」という輝きの積み上げをしていく生き方がいいと思い、学生にも勧めています。

### 「私はこう思うけど、あなたはどう思う？」

生きていく上で、自分で決めるということも大事です。ただ自分で決定するということは、失敗したときは自己責任になります。

成功したときは、「やっぱり自分で決めてよかった」ということで自己肯定感が膨らんでいきます。アドバイスをする側としては、「私はこう思うけど、あなたはどう思う？」という目線で、判断を押しつけないようにしてください。人に決めてもらったほうが楽ですが、自立することを意識しましょう。高校駅伝の強豪である三重県の高校の陸上部は、部のスローガンが「自立」です。自分の頭で考えて、自分で行動しろということで、放課後の練習

メニューも全部各自で決めます。自分で決めたことだから、サボるわけにいかない。敵は己です。自分が決めた目標を守れているか振り返ることを繰り返していくと、人から言われるのではなくて自分が決めた

ことに対してどうなのか、どう輝いているのかというのを客観視することができるようになります。長時間トレーニングすればいいというわけではありません。心のあり方がすごく大事です。「いのち」「愛」そして「こころ」。これらがとても大切なのです。

### 豊かな人間関係を築いて安心な社会を

大人に対しても子どもに対しても、よくないことをした人には、責めるのではなくて「どうしたの？」とまず声をかけて、聴いてあげてください。それから頭ごなしに注意するのではなく、まずは「それは大変だったね」と共感してあげてください。怒りではなくて、寄り添い、共感を大切にしてコミュニケーションをしてください。

豊かな家庭、親子関係、仲間関係を築き、被害に遭って大変な思いをしておられる人たちの話を聴いて「それは大変だったね」と言えて、エンパワメントしていけるような安心な社会を築いていければいいなと思っています。